

令和3年度 学校評価報告書

学校番号(02) 長崎市立(日見中)学校

1 教育目標

感動：努力なき者に成功無し、成功なき者に感動無し
 創造：平和で豊かな社会を創る力を身につけさせる
 協調：必要なときは、大同団結

2 学校経営方針

「挨拶・返事・笑顔」日本一の学校を目指し、
 ①節度ある生活態度と中学生としての品性を身につけさせる。
 ②基礎基本の学力の定着と、確かな学力の向上を図る。
 ③自らの生命を守るために、危機予測能力、危機回避能力を身につけさせる。
 学校・家庭・地域の信頼構築に取り組み、「日見中学校だからできる」ことを考え、チャレンジする学校

3 重点目標

- ①基礎学力の定着と表現力育成
- ②基本的な生活習慣の確立
- ③豊かな心と自律の精神、健やかな体の育成
- ④学校・家庭・地域との親和

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童 生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	79	90	94	教育目標の達成や明るく楽しい雰囲気という項目の結果が良いことから、教育活動が一定の成果を得たと考えられる。一方、校務分掌の在り方や校務縮減、業務改善については、昨年約20ポイント改善したものの、マイナスイメージが拭えない。校務の見直しやスリム化を図る必要がある。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	95	97	82	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			80	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			65	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	91	86	76	十分とは言えないものの、生徒は挨拶をよくするようになった。また、評価は全体的に高めではあるが、100%ではない項目があることから、例えば、相談に親身になってくれない、いじめ対策ができていないなど、少数派ではあるが、助けを求めているも、手を十分にさしのべられていない生徒とそれを危惧する保護者の存在が見える。定期的または適時の面談や観察・アンケート等による問題の発見を確実にする目や生徒や保護者の心に届く指導や援助ができる生徒指導体制及びその実行力の向上を図りたい。
		挨拶をよくしている	96	81	82	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)				
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	82	75	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	89	78	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	94	85	93	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	90	83	93	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	84	72	100		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	85	85	88	学習において困り感のある生徒が全体の27%いるが、その割には授業は分かりやすいと回答してくれている。家庭学習の習慣が身に付いていないという自覚は、三者で一致している。家庭学習の習慣付けのためには、生徒に学習の目的をはっきりさせ、そのための生徒自身による自己分析とその対策立案が必要である。今年度は、そこにも手を付け、これまでの学力向上プランを見直し、取組を強化している最中である。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	80	74	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	75	59	50	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	81	71	100	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		89				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	84	84	94	昼休みは、ほとんどの生徒が運動場で活動している。例年ならば地域のロードレースにも意欲的に参加し、体力の向上に努めている。衛生管理に関しては保健だよりや掲示物を通して、情報を提供している。食育については、小学校と連携を図り、栄養教諭の指導を各学年で実施している。ただし、コロナ禍による部活動の自粛などで、運動の機会が奪われたことも結果に影響を与えたようである。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	77	67	79	
		体力向上に努めている	75	73	94	
	食育	食に関する教育活動を行っている	77	89	82	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	90	88	94	コロナ禍のため健康面に対する安全管理には注意を払ってきた。また、新しくなったホームページの更新により、情報の発信が容易になった。育友会や地域との連携では、行事の縮小や中止のため地域行事への参加ができなかった。研修については、年間計画に基づき、学べる環境づくりを心がけた。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	90	91	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	77	89	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	80	80	80	月1回の安全点検、安全衛生推進会議で、報告があった内容に対しては迅速に対応している。職場環境については、職員の声を聴き環境向上につながる方策の知恵を出しあい、改善や改革を必要に応じて行っている。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			67	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

1 【成果について】	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の評価の平均値は85ポイント、保護者の平均は81ポイント、職員の平均は88ポイントで、本校の教育は全般的に肯定的に捉えられており、概ね満足できる結果になっている。 生徒、保護者、職員の三者の平均が90ポイント以上は4項目(明るく楽しい、生命人権尊重、安全、ホームページ)ある。本校の教育目標でもある命の教育が成果を上げており、安全安心な学校づくり等が後押しをしていると考えられる。
2 【課題及びその対策について】	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、保護者、職員が共通して課題と考えている項目は、家庭学習の習慣と、基本的な生活習慣である。学習に対する動機付けの低さと朝食を食べないなどの基本的な生活習慣は、学業連携を強化するとともに、小学校との情報や課題の共有によ

6 学校関係者評価

紙面による回答から。

- 生徒は地域の中でもあいさつをしている。昨年度に引き続き、地域行事もなく残念であるが、やむを得ないことととらえている。雰囲気の良い感じられる。
- 生徒と教師の関わりが良いことは学校評価全般から判断できる。
- 学校評価の低い数値部分を次年度良い方向に改善できたらと期待する。
- 家庭学習の取組の指導については、保護者とも連携し、引き続き努力してほしい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

上記5番の【課題及びその対策について】に追加して。

- コロナ禍における地域や保護者との連携は難しい面があるが、学校だよりの発行や安全安心メールの活用、ホームページの更新や内容の充実を図るなど、学校の教育活動を報告することにより、今後なお、一層の連携を進めていきたい。
- 基本的な生活習慣や家庭での学習習慣の定着については、保護者との連携に加え、小学校との連携も密にしていくことで、改善を図りたい。また、生徒会活動を活性化させ、生徒の当事者意識を高めるとともに、年間計画の見直しにより、全校を挙げての取り組むことができるようにしたい。